

# 武蔵野日記

(3月23日~4月21日)

発行人 社会福祉法人武蔵野  
武蔵野市吉祥寺北町4-11-16  
0422(54)7666

5月1日現在 職員総数 310名

## <武蔵野日記 5月号特集 新人職員の紹介>



### 平成28年7月1日採用 2名

きむら ゆうき  
**木村 有希** (けやき 一般支援)

昨年7月にワークセンターけやきに配属となり、就労支援員として働いています。これまで福祉分野での仕事の経験がなく戸惑うこともありますが、利用者やご家族の意思を尊重することを忘れずに支援を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

みやばやし あおい  
**宮林 葵** (リエゾン 一般支援)

ご利用者の方々が安心して暮らせる場、環境が提供できるように取り組みたいです。臨時職員のとくに経験させていただいたことも活かしながら福祉という仕事に向き合っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 平成28年10月1日採用 1名

いしだ まお  
**石田 真緒** (事務局 一般事務)

平成28年10月より事務局での採用となりました。まだまだ道のりは遠いと感じますが、いつか先輩たちのようなご利用者にも職員の方にも信頼されるような事務員になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

平成 29 年 3 月 1 日採用 1 名

ひぐち かおり  
樋口 加織 (ゆとりえ支援 一般支援)

日々のお会いと笑顔に感謝し毎日楽しく仕事に取り組んでいきたいと思ひます。学びの姿勢を持ち、早く地域に馴染むことができるように努力していきたくひです。どうぞよろしくお願ひ致します。

平成 29 年 4 月 1 日採用 13 名

なかの まみ  
中野 真美 (事務局 看護師)

今年度より正規職員として職員と利用者さんの健康管理をさせていただく事になりました。10ヶ月間山びこでさせていただいた看護業務とは異なりますが、皆様のお役に立てる様、頑張ります。よろしくお願ひいたします。

いよいよ ひろみち  
飯吉 博道 (大地、一般支援)

一人ひとりとの関わりを大切にし、気持ちに寄り添ひ、生活が楽しく、気持ち良いものとなるよう日々学んでいきたくひと思ひます。至らない点もあるかと思ひますが、よろしくお願ひ致します。

やまもと ひかり  
山本 耀里 (山びこ 一般支援)

4月から社会人としてのスタートを切りました。利用者の方々との時間を楽しみながら、日々さまざまなことを吸収して頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

えんどう ふみあき  
遠藤 史啓 (山びこ 一般支援)

この度、入社いたしました遠藤と申します。私はこれまで福祉の仕事の経験もほとんどなく今現在も業務において驚きの連続ですが、今後利用者の方々のお役に立てるよう一日も早く一人前の職員になれるよう努めたいと思ひます。どうか今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

ななさわ まり  
七澤 真梨 (ハビット 一般支援)

新しい出会いに緊張しながらもとてもワクワクしています。この出会いを大切に、利用者の方や先輩職員の皆様から日々学びながら元気に頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

ひらま ふみか  
平間 史香 (障害者福祉センター 看護師)

平成 22 年 4 月より嘱託として勤務していましたが、今年度より正規職員となりました。今後とも日々精進の気持ちで頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

あらはた えいこ  
荒幡 英子 (障害者福祉センター 理学療法士)

嘱託職員としてすばるで勤務し、今年度から正規採用となりました。すばるでは自立訓練やりハビリ相談を行っています。今後とも地域の皆様のお役に立てるよう、何事にも誠意をもって取り組んでいきたくひと思ひます。



たなか なおこ  
**田中 治子**（障害者福祉センター 言語聴覚士）

嘱託として3年間勤務し、4月からは正規職員として引き続き高次脳の専門相談に関らせていただきます。まだまだ勉強の毎日ですが、今後もお一人お一人の生活を第一に考え丁寧な支援を心がけていきたいと思ひます

すえひろ  
**末弘 みちよ**（障害者福祉センター 作業療法士）

すばるで2年前も働かせて頂いていました。以前の事を思い出しながら、新たな気持ちで日々研鑽していければと思ひます。早く仕事に慣れ、チームの一員となれるように頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。

きとう ともこ  
**佐藤 具子**（障害者福祉センター 一般事務）

平成29年4月より障害者福祉センターで勤務することになりました。1日も早く仕事を覚え、少しでも皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

おおき ひろし  
**大木 博**（リエゾン 一般支援）

居住支援施設で働き始めて今思ふことは、利用者と信頼関係を結ぶことがいかに大変で、かつ重要であるということです。利用者が安心できるような、心地よく思ってもらえるような職員を目指して、日々頑張っていきたいと思ひます。

わたなべ かずき  
**渡邊 一樹**（ゆとりえ 一般支援）

この度は、新人正規職員として採用していただき誠にありがとうございます。不安も沢山ありますが、利用者様に快適な生活を送っていただくために日々研鑽をしていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

こばやし かおり  
**小林 香織**（ゆとりえ 一般支援）

皆さんと一緒に働くことを楽しみにして来ました。初めはできないこともたくさんあると思ひますが、できることが一つでも多くなるよう、常に向上心をもって励みたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

#### **平成29年4月1日 武蔵野市より派遣**

たぐち まこと  
**田口 誠**（障害者福祉センター所長）

4月から市役所より派遣され社福武蔵野にお世話になることになりました。障害者福祉センターの所長は自分にとってはやや重責ではありますが、みなさんの力を借りながら、地域の障害のある方の「自立」と「社会参加」のお役に立てるよう頑張ります。





## プロとしての自覚を

事務局長 小山 聡

今年の春は長い期間桜の花を見ることができました。そして春といえば新入生、新人職員。法人も20名を超える仲間を迎えることができました。ここ数年は新規事業が続き毎年大勢の仲間を迎えています。新人職員を迎えた職場では、人事異動のほか新たな利用者を迎えた施設も多く、ベテランといえども緊張の日々が続いていると思います。一日も早く職員が一丸となれるよう、コミュニケーションをとってください。

さて、私たちが介護・支援をするうえでの心構えを一つ書きます。それは「私たちはプロであれ」ということです。介護・支援の経験が20年を超えるベテランもいれば、この春学校を卒業し、初めて経験している職員もいますが、皆さん「プロ」のスタッフです。自覚を持って「自己管理」してください。

2年前の年末、金曜日にある事業所で忘年会が開催されました。週明けにその事業所から「職員が高熱で病欠です」という連絡が事務局に寄せられ、複数の職員が休暇になりました。休暇になった職員はインフルエンザに感染しており、忘年会に参加していません。

昨年12月、利用者・職員をあわせ24名が感染性胃腸炎に感染しました。他の事業所でもお休みする利用者や職員がおり保健所に届け出、指導が入りました。利用者から他の利用者・職員が感染し、他の事業所でも感染してしまったと思われます。

これらの事案は、予防することはできなかったのでしょうか。職員の多くが発症してしまい、通常業務を継続することが出来ない状態だった事業所もありましたが、利用者も罹患したほか感染予防から休む方がいたため、対応することが出来ました。介護・支援を行う私たちは、感染症に対する細心の注意を払うことが求められています。「職員はプロであれ」と冒頭に書きましたが、私は以前の職場で食品衛生に関する保健所の職員の話を聞きました。ノロウイルスに関する講義でしたが、保健所の職員として「ノロウイルスの感染予防を語る以上、自分が感染するわけにはいかない」と、その職員は、「食品関係を担当するようになってから、生ものは食べない食生活を送っている。」と話していました。お刺身、牡蠣など貝類、生肉、焼肉屋、寿司屋…。感染する恐れのある食品やお店は避けていたそうです。市の学校給食調理員の中には、給食調理をしている時期は「生ものを食べない」という職員もいました。生ものを食べなければノロウイルスに感染しないと必ずしもいえないことは、2月に発生した立川市の学校給食の食中毒で明らかになりましたが、やはり「自己管理する気持ち」こそ大切ではないでしょうか。自己管理できるということは、健康を維持するというだけでなく、すべてのことに通じます。インフルエンザや感染性胃腸炎に罹患しない対策、そして利用者の健康状態をいち早く発見することに私たちは日頃から心がける必要があります。世の中、破天荒なことをやっても成功する人間もいますが、多くの凡人は自己管理できてこそ、よりよい介護・支援につながります。



3月27日(月)

## ～廣田ディナーで交流を～

毎月1回、廣田シェフが腕を振るって、各グループホームで素敵な晩御飯の日(通称:廣田ディナー)が開催されます。

私も3月13日のせきまえハウスの弥生会に参加しました。

昨年度のリエゾンでは、各グループホームのご利用者の方々の交流を目的に、各職員が所属先とは異なるグループホームを訪問しご利用者と一緒に廣田ディナーを楽しみました。

ごちそうを頂きながら、お仕事のこと、びーとの行事に参加したこと、趣味のお話 etc...お邪魔した職員も、ちょっぴり新鮮な気持ちで交流を楽しむことができました。

(伊藤 千幸)

せきまえハウス



3月23日(木)

## じゃがいもを植えました。

じゃがいもの不足でポテトチップスが販売中止になってしまう昨今ですが、ケアハウスでは一足先に南側の庭にじゃがいもを植えていました。種芋を植えたばかりですが「食べるのが楽しみ!」と話す方や「昔はよく庭いじりをしていたわ」と懐かしそうに手伝ってくださる方もいました。じゃがいもを育てることで、「こんなじゃがいも料理が食べたいなあ」と考えて食欲が増えたり、じゃがいもが成長するのを観察するためにケアハウスの外に出たりする機会が多くなれば良いと考えています。

(間部 静夏)

武蔵野市桜堤ケアハウス



3月29日(水)

## 手ぬぐい作り

現在、山びこのグループ1では、手ぬぐいを作っています。糊を塗って、その上から染液を塗って、乾かして洗うと、糊を塗った部分には色が入らず、きれいな模様が出来上がります。作り方はとてもシンプルですが、実は、さらし以外の材料はすべて手作りです。糊は古米と糠から作り、染液は柿渋や藍を使っています。利用者のみなさんもお米をすりつぶしたり、染液を作ったりとまさに職人のよう。グループ1のメイン活動がリサイクル活動ということもあり、捨てられるものを再利用し、また新たなものに生まれ変わる循環型社会をコンセプトとして活動を行っています。6月の手ぬぐい展において、一丸となって作っております。

(笠原 匠充)

デイセンター山びこ



4月3日(月)

## 売上げ120万円突破しました！！

私たちは毎月の売り上げ80万円を目標に、受注作業を行っています。ご利用者の皆様の頑張りによって、3月分の売り上げは、なんとりぶる史上最高額の約120万円となり、目標を大きく上回りました。皆様にもこの売り上げをお伝えすると「おー！」という歓声が上がりました。また、平成28年度も東京都の最低賃金の3分の1以上の支給も達成できました。

とはいえ、受注の状況によって売り上げは毎月上下するため、売り上げ維持のための戦略的な工夫が必要となります。

4月からご利用者数が20名になりました。より活気のある職場にし、皆様の工賃アップを目指していきます。

(金子 幸平)

## ワークステージりぶる



4月4日(火)

## 北町道場で「お花見～！」

北町道場は、人間関係の幅を広げ、活動を通して利用者がリフレッシュする機会の提供を目的として、びーと登録者を対象に行っている活動です。16時過ぎになると所属している各事業所や就労先から、それぞれのペースでびーとへ集合。

最初は地下食堂で準備体操。自然と見本となる人が前に出てきてくれます。それから卓球。相手が返せるように、みなさん優しく打ったり、転がしたりと慣れた様子。今回はお天気も良くお花見日和なので、いつもより早めに切り上げてお花見へレッツゴーとなりました。

マクドナルドの前の中央通り桜並木公園で集合写真を撮ろう！と並んで並んで～と「ハイ！チーズ」みんな最高の笑顔でした。

(大石 千笑子)

## 相談支援センターびーと



5月1日現在 職員総数310名

事務局より 5月の予定

2日(火) 施設長会議

16日(火) 誰でも相談室

24日(水) 内部監査

29日(月) 第1回理事会

31日(水) 経営企画会議

<武蔵野日記編集長から>

武蔵野日記をペーパーレス化して2回目となりました。早速新人紹介のページに対応して6ページの紙面となりました。この試みは省エネだけが目的ではなく、自由な紙面づくりということも考えて始めました。これから、皆さんが発信したくなるような仕掛けづくり、読みたくなるような紙面作りに取り組んでいきたいと思っています。

ペーパーレス化は、そんな新しい武蔵野日記への第一歩です。職員の皆さんの豊かな発想、アイデアをぜひお寄せ下さい。

編集長 土橋 誠人